

令和6年度夏 あらかわ俳句吟行会

投句数	213句
投句者数	64人
投句条件	①テーマ:荒川自然公園 ②夏の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和6年6月21日(金曜)から7月19日(金曜)

特選	日の盛りこいで転んで起き上がる	大塚望未さん
選評	太陽が盛んに照りつける夏の午後の暑い盛りに自然公園の交通園で自転車を漕いでは転んで起き上がる八才の学童が繰り返しの練習。何事も大切な事は諦めずに努力する事を自らに鼓舞させる様な表現の強さにドラマを見ている様だ。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	はつ夏を駆ける真っ赤なゴーカート	近江堇花さん
	夏惜しむ遊具の恐竜よく揺れて	松本紫音さん
	オオムラサキ重ね来た日を軽やかに	室井ハツエさん
	エレベーター出れば公園風青し	高仲絹さん
	金網の七丁目口通路炎ゆ	HNKAGAさん

令和6年度冬 あらかわ俳句吟行会

投句数	247句
投句者数	63人
投句条件	①テーマ:荒川公園 ②冬の季語を用いること
選者	佐々木 忠利氏(荒川区俳句連盟会長)ほか
実施日	令和6年12月1日(日曜)から12月31日(火曜)

特選	凍蝶はトルハルバンの庇護にあり	布さん
選評	寒さで凍えた様にじっとしている蝶がトルハルバン(韓国済州の石像を友好都市提携で贈られ)の庇護を受けている様子を描写している。凍蝶は儚さや脆さを象徴し、トルハルバンは守護や安定を象徴して、儚い存在が強い存在に守られている情景が感得される。(荒川区俳句連盟会長・佐々木忠利氏)	
入選	区役所のスロープ恐し初時雨	斉藤寿美子さん
	凍空に裸婦像丸く縮こまり	松本紫音さん
	西望の「夢」像でんと冬の空	高仲絹さん
	釣り人の動かぬ背中冬日照る	琴葉さん
	西望の「夢」のオブジェへ日脚伸ぶ	鈴木しおりさん